

事業概要

| | | | |
|---------|---|---------------|--|
| 団体名 | 特定非営利活動法人 福祉のまちづくり実践機構 | 総合評価 S | 評価基準（総合評価） S（非常に高く評価できるもの） A（高く評価できるもの） B（一定の水準にあるが一部課題のあるもの） C（一定の水準にあるがかなり課題のあるもの） D（全般的に多く課題のあるもの） |
| 事業名 | 大阪版ソーシャル・ファーム認定制度（ソーシャル・ファームおおさか）プロジェクト | | |
| 実施期間 | 平成30年6月1日～平成31年3月31日 | | |
| 助成（実績）額 | 4,000,000円 | | |

| 事業概要 | 事業実績 | 事業を実施したことによる成果 |
|--|--|--|
| <p>1. 『行政の福祉化』への認識</p> <p>(1) 『行政の福祉化』の現状と成果</p> <p>○『行政の福祉化』は通常業務に「福祉を包摂」を目指す取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 『行政の福祉化』は1999年11月に「府政のあらゆる分野において、福祉の視点から総点検し、住宅、教育、労働など各分野の連携のもとに施策の創意工夫や改善を通して、障がい者や母子家庭の母、高齢者などの雇用・就労機会の創出や自立支援」→全庁的プロジェクト（縦割りを福祉で横ぐし） 「障がい者など就職困難者の雇用・就労促進」「府営住宅など既存資源を活用した福祉活用」を2つの大きな柱として、大阪府の既存施策や業務の内部に「福祉を包摂」し、既存資源を「福祉」に活用する取り組みであった。→大きな財源を新たに必要としない費用対効果を考慮している。 「清掃業務を活用した就労訓練の取組」の実績は2000人を超える訓練生、800人以上の就職。→制度や運営費補助ではなく、就労支援費を組み込んだ施設清掃の委託費。 <ul style="list-style-type: none"> 公共性を評価する「総合評価入札制度」の応札企業には、障がい者雇用率が28%を超える企業も。→企業の自発的な取り組み（付加価値）を促進→『行政の福祉化』が『ビルメンテナンス産業の福祉化』を誘発 <p>(2) 社会が変化する中での『行政の福祉化』への期待</p> <p>○「制度と市場からの排除」が生み出す福祉課題の解決に資すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護認定を受ければ、障がい者手帳があれば各種サービスを利用できるが、ボーダー層は利用できず、生きづらさを抱えたまま生活。 | <p>1. 大阪府と民間組織の協働・連携に関する基礎調査【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートから把握できた実態は、「①法人格で「営利・非営利」を判断するのは困難であり、事業目的やリターンへの期待で4類型に分類できること」「②行政の福祉化と足並みをそろえるように20年間でソーシャルファーム的な取り組みは増加」であった。 ①4類型（119団体から抽出） <ol style="list-style-type: none"> 「知識」「経験」「人脈」「満足感」重視【25団体】→社会ネットワークの中で社会的価値の創造を優先 「環境改善」「自身・身近な友人等の課題解決」重視【17団体】→事業性よりも課題解決を優先 「金銭的利益」「事業規模の維持・拡大」重視【24団体】→純然たる営利型ではあるが、社会性も含む取組 「社会変化」「社会的価値創造」「雇用の維持・拡大」重視【22団体】→事業活動による社会的課題の解決を重視するイバティブな営利企業 | <p>1. ソーシャルファーム2つの理念型</p> <p>～インクルーシブファームとパイオニアファーム～</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートでは、法人格で「営利・非営利」を判断することが難しいこと。ヒアリングでは、「①既存の制度を利用しながら、脆弱性を抱える人が働くことができる場を確保」している団体。「②個人や地域の脆弱性に対して新たなアプローチを試みたり、新しい概念を創造したりするなどの、多様な価値創造をはらむ事業を行っている」団体がわかった。 これらをうけ、2つの理念型のソーシャルファームに区分した。 <ul style="list-style-type: none"> ①脆弱性を抱える人々の社会への再統合（reintegration）を志向する領域に、労働市場に雇用や働く場を具体化してくアクター（インクルーシブファーム） ②その価値・手法・必要な制度の開発を担うアクター（パイオニアファーム） <p>2. インクルーシブファームの現状と今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪の代表的なインクルーシブファームは、総合評価入札制度に参加しているビルメンテナンス企業。 現状の課題として多かった意見としては、「発注者責任」。障がい者雇用の意義は保ちながらも、質の高い障がい者雇用の継続に苦心していた。 総合評価入札制度が成功した要因として、<u>中間支援機関の存在</u>を上げる事業者が多かった。産業全般を対象とした中間支援ではなく、「<u>ビルメンテナンス業に特化した団体</u>」であったことも大きな要因。→当事者の戦力化のために、業務知識も備えたうえで、当事者と産業への支援が不可欠。 <u>競争を排除したマーケットに依存しすぎた経営は脆弱性をほらみ、当事者の戦力化をおろそかにすることにもつながり、他業種に水平展開する際には、それぞれの業に精通している中間支援機能を用意することが重要なポイント。</u> <p>3. パイオニアファームのさらなる分類</p> <ul style="list-style-type: none"> パイオニアファームは以下の3つに分類可能ではないかと考えられた。 <ul style="list-style-type: none"> A：当事者の課題解決という目的を最優先するタイプ B：当事者性を重視しつつ、事業の継続性を意識するタイプ C：制度を最大限活用し、新しい価値等を創出しようとするタイプ。 現状の課題として挙げられた声としては、「<u>支援人材の不足</u>」、「<u>当事者の状況に合わせた制度の柔軟な運用</u>」、「<u>寄付やボランティアなど民間支援を促す広報支援</u>」といったものが聞かれた。 支援対象者が多様となり、事業成果といった指標を定量的に評価する一定の手法を取りにくい事が考えられる。→支援の検討にむけては、自らの社会的価値の見える化を行う事がひとつの |

→「制度からの排除」の問題

- ・二重障害など確実なニーズはあるが市場性が小さくて放置される

→「市場からの排除」の問題

- ・少子高齢化や貧困化もすすみ、社会保障費の増加などで財政もひっ迫しており、新たな財源を用意することは簡単ではない。

→既存の行政サービス・資源に付加価値をプラスし「複雑・個別化する福祉課題の解決に資する」ことが『行政の福祉化』への次の期待

(3) 『行政の福祉化』に向けたソーシャルファームのあべき姿とその役割

○「就労機会の創出」と「制度の狭間や排除」に取り組むソーシャルファーム

- ・「制度からの排除」「市場からの排除」といった、**排除の問題に対峙できる『行政の福祉化』の実現にむけて、「①排除されている課題の発見＝プレイヤーの発掘・発見 etc」「②取り組むべき課題の見極め＝認証制度 etc」「③財源の確保＝ハイブリットな財源（市場・非市場・非貨幣資源） etc」**が大切になる。

- ・本事業では、狭間の問題を『行政の福祉化』の取り組むべき課題と設定し、「**ソーシャルファーム**」を障がい者等への**就労機会の創出**に取り組む団体のみならず、**制度の狭間や排除**に取り組む団体と位置づけ、その**支援策を検討していく。その対象は公益法人のみならず、活動内容や運営方法で支援対象を検討した。**

2. プロジェクトの進め方

2018年度は大阪府内で活動する「①多様なプレイヤーの発掘・発見」と「②取り組むべき課題の整理」に向けて、府内事業者を対象としたアンケート調査ならびに実態の把握や事例の収集を行った。

(1) 「大阪府と民間組織の共働・連携（パートナーシップ）に関する基礎調査」の実施

- ・多様なソーシャルファーム等の事業モデルを発掘、検討することを目的として、大阪府下の民間企業、NPO法人、社団・財団法人、社会福祉法人等から335団体を抽出し郵送アンケートを実施。119団体から回答を得た。また、13団体に対してヒアリング調査を実施した。

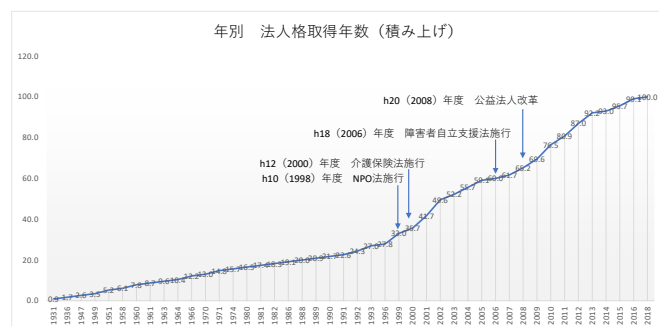
(2) 先進事例の収集

- ・ソーシャルファーム等の事業を行う中間支援に求められる機能を把握、検討するため、他府県の中間支援団体（飛騨信用金庫・NPO 高知市民市民会議）へのヒアリングやソーシャルファームジャパンサミットで記録を担当し全国各地の事例収集を行ったほか、評価指標の検討のため特定非営利活動法人 SROI ネットワークジャパン（現・特定非営利活動法人 Social Value Japan）へのヒアリングを行った。

②ソーシャルファーム的な取り組みの増加

1) 法人格取得年数の推移

- ・1999年特定非営利活動法人（NPO）法の施行、2001年小規模授産施設の導入、介護保険法の施行、2006年障害者自立支援法の施行（就労移行支援事業所・A型・B型）、2008年公益法人改革（一般社団・財団法人）、2015年生活困窮者自立支援法の施行（「中間的就労」認定）、2017年社会福祉法改正（社会福祉法人に社会福祉事業・公益事業提供責務）など、身近な地域で多様な担い手が福祉事業に参加しやすい環境整備や制度の狭間を意識した施策が推進されてきた。



2. 大阪府と民間組織の協働・連携に関する基礎調査【ヒアリング】

- ・マルチステークホルダー／事業目的（上記4分類該当団体）／ニッチ福祉の担い手（福祉事業領域において困難性が特に高く限定的な対象者に特化した事業活動を行っている法人・団体）／総合評価入札制度参加団体／中間支援経験団体
- ・いずれの団体も地域や働く現場のニーズをくみ取り、多様な事業展開を図り、単なる営利だけを追求するのではなく信念をもって事業を行っていることが共通していた、
- ・団体が求める支援ニーズは個別的で複雑ではあったが、それ以上に「**官民が協働し、支援策を共に考えられる場の設置**」という「**プロセスの共有**」や「**補助金や公共調達だけでなく準市場等から受注しやすい市場づくり**」という「**お金だけでなくしごと**」というニーズが行政の福祉化にとっては重要であった。

○認定制度検討に向けた先進事例の把握

1. 先進事例4団体へのヒアリング

- ヒアリング団体：①NPO法人 Social Value Japan／②NPO法人わっぱの会／③飛騨信用組合／④NPO 高知市民会議

2. ソーシャルファームジャパンサミットへの事務局参加

- 2019年2月16日、17日に開催された「ソーシャルファームジャパンサミット in 大阪」に事務局として参加し、日本各地の事例収集と日本型ソーシャルファームについての考えを深めることを目的に記録を担当した。

【基調講演】「日本におけるソーシャルファームの現状」

ポイント

4. 大阪版ソーシャルファーム認定制度の方向性

○パイオニアファームには価値・手法・制度などの見える化支援

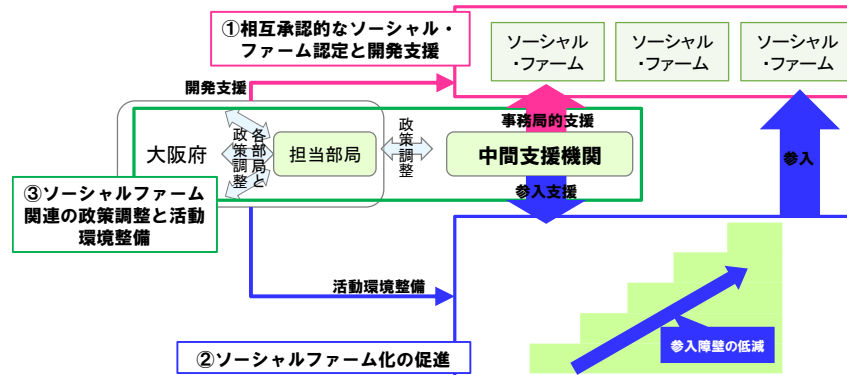
- ・パイオニアファームに対しては、多様な取り組みを支え、生み出す価値・手法・制度など見える化していくことが何よりも重要になる。

- ・ただし、一律に価値基準や評価尺度を決めてしまい、その取り組みを計測して効果の多寡を図ることは、民間の開発能力を弱めることにもなりかねない点には留意すべき。

○インクルーシブファームは次の領域づくり支援

- ・インクルーシブファームに対しては、それらの企業が正当に活動できる制度・環境の整備に加え、インクルーシブファーム予備軍とも言える企業や業界に対するソーシャルファーム化を図る支援が重要となる。

○支援の具体化に向けて 中間支援機関に求められる機能



①相互承認的なパイオニアファーム認定と開発支援

- ・パイオニアファームでは指標の設定が難しく、相互承認的なメンバーシップのもとで運営される中間支援を担う協議会やネットワーク組織の形成が第一。
- ・そうした組織で、新たな価値・手法・必要な制度を把握し、政策的な調整を試み、事業継続の助成金などの運営方針の案を導出すること。

②インクルーシブファーム化の促進

- ・インクルーシブファーム予備軍に立ちはだかるソーシャルファーム化に伴う参入障壁を、資金のみならず人的サービスやノウハウ提供などの面から緩和する。
- ・就職困難者への就労支援と事業主へ労働力開発（人材の戦力化）を支援する中間支援組織を設置することである。『障がい者等の職場環境整備等支援組織』はこれらの役割も担うべき。

③ソーシャルファーム関連の政策調整と活動環境整備

- ・パイオニアファームの領域では相互承認的なメンバーシップのもとで運営される協議会やネットワーク組織、インクルーシブファームの領域では中間支援組織の提言を受けながら、各種条例やガイドラインの整備や、公共調達・公共施設管理などに代表される公共財にまつわる領域においてソーシャルファームが優先的に活動できる環境・ラウンドテーブル等（中間支援組織）を形成すること。
- ・将来的には双方の領域を網羅することを目指すべきだが、第一歩としてはそれぞれの領域で中間支援機関設置を目指すことが現実的。

| | | |
|--|---|--|
| | <p>【基調対談】「ソーシャルファームってなに？」</p> <p>【実践事例報告】</p> <p>①ソーシャルファームを推進する自治体の取り組み</p> <p>②全国や関西でのさまざまな取り組み</p> <p>【Session1】地域のまちづくりにソーシャルファームを</p> <p>【Session2】公共市場にソーシャルファームを</p> <p>【Session3】世界や韓国のソーシャルファームから日本をみる</p> <p>【Session4】ソーシャル Farm でソーシャル Firm を目指せるか</p> <p>【開催場所】 シティプラザ大阪</p> <p>【参加者】 500人</p> | |
|--|---|--|

※修正があれば朱書き訂正の上ご提出ください。また写真の挿入も可能です。(1～2枚程度)